「藤沢市子ども・子育て支援事業計画」

計画事業の進捗状況(平成27年度実績)

藤沢市子ども・子育て支援事業計画における「教育・保育の量の見込みと確保の内容」

(1) 認定こども園及び幼稚園

特定教育• 保育施設

確認を受けない 幼稚園

計

実 績 一

計 画 確保の

内 容

	-						(単位:人)	(平成28年3月31日時点)
		市全域	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成27年度の取組と今後の事業計画、課題等
	量	1号認定	5,956	5,852	5,762	5,599	5,435	認定こども園については、保護者の就労状況等によらず、就学前の子どもに教育及び保育を一体的に提供する施設であり、また、小規模保育施設等の3歳児以降の受け入れ先としての連携施設となることから、
	見込	2号認定	685	673	662	644	625	幼稚園に対して移行に関するアンケート調査を実施し、認定こども園への移行を希望する園には神奈川県 との連絡調整など、移行に向けた支援を行った。
	み	計①	6,641	6,525	6,424	6,243	6,060	また、保護者が就労している児童も幼稚園を利用できるよう、幼稚園が行っている預かり保育の長時間 化及び夏期休業中の保育の実施・充実に向けて、幼稚園事業者との協議・調整を図り、幼稚園事業者に おける長時間預かりが推進されるよう検討した。
計画	確	特定教育• 保育施設	258	1,014	1,268	3,632	5,194	今後も引き続き、認定こども園への移行に対する意向調査を実施するとともに、保護者の選択肢るよう長時間預かりの実施に向けた調整を継続して行う。
	保の内	確認を受けない 幼稚園	7,018	6,099	5,609	3,285	1,213	数となっている。
	容	計 ②	7,276	7,113	6,877	6,917	6,407	
		2 - 1	635	588	453	674	347	
	確	特定教育• 保育施設	258					
実績	保の内	確認を受けない 幼稚園	7,018					
	容	計	7,276					

				平成27年	丰度計画		(単位:人)	(平成28年3月31日時点)
		地区別	東南地区	西南地区	中部地区	北部地区	計	平成27年度の取組と今後の事業計画、課題等
		1号認定	2,112	1,072	1,502	1,270	5,956	
	0 5 i	2号認定	179	90	146	270	685	
	Ŧ	計①	2,291	1,162	1,648	1,540	6,641	
計画	_	特定教育• 催 保育施設	258	0	0	0	258	
) 唯心と文()ない.	2,095	1,128	2,000	1,795	7,018	
	7	計 ②	2,353	1,128	2,000	1,795	7,276	
		2 - 1	62	△ 34	352	255	635	
	_	特定教育• 保育施設	2 58	0	0	0	258	
事 利		確認を受けない 幼稚園	2,095	1,128	2,000	1,795	7,018	
		計	2,353	1,128	2,000	1,795	7,276	
美		特定教育• 保育施設	0	0	0	0	0	
稍 一 言	- +	確認を受けない 幼稚園	0	0	0	0	0	
直	Ī	計	0	0	0	0	0	

(2) 認定こども園及び認可保育所、地域型保育

3号認定子どもの保育提供率の目標値

_		平成27年度計画	平成28年度計画	平成29年度計画	平成30年度計画	平成31年度計画
	目標値	25.1%	29.0%	30.8%	34.1%	36.4%
	実 績	23.7%				

平成31年度

		ī	「全域	平成27年度	
	量	C)歳(3号認定)	662	
	の 見	1.	2歳(3号認定)	2,779	
	込	3歳	以上(2号認定)	3,441	
	2		計 ①	6,882	
			特定教育・保育施設	505	
		O歳	地域型保育事業	21	
		0 成	藤沢型認定保育施設	33	
計			小計(a)	559	
ПΙ	確		特定教育・保育施設	1,802	
	保	1•2歳	地域型保育事業	71	
画	の	Ⅰ - ∠ 成	藤沢型認定保育施設	285	
	内容		小計(b)	2,158	
	台		特定教育・保育施設	3,495	
		o 告니 L	地域型保育事業	_	
		3歳以上	藤沢型認定保育施設	98	
			小計(c)	3,593	
		計	(a+b+c) ②	6,310	
		2) – ①	△ 572	
			特定教育・保育施設	505	
		O歳	地域型保育事業	16	
		し成	藤沢型認定保育施設	45	
	確		小計(a)	566	
			特定教育・保育施設	1,802	
実	保	1•2歳	地域型保育事業	51	
	の	Ⅰ - ∠ 成	藤沢型認定保育施設	199	
績	内容		小計(b)	2,052	
	台		特定教育・保育施設	3,495	
		3歳以上	地域型保育事業	_	
		3. 成以工	藤沢型認定保育施設	116	
			小計(c)	3,611	
		-	計(a+b+c)	6,229	
			特定教育・保育施設	0	
		O歳	地域型保育事業	△ 5	
		0 成	藤沢型認定保育施設	12	
			小計(a)	7	
実績	確		特定教育・保育施設	0	
小 貝	保	1•2歳	地域型保育事業	△ 20	
_	の	Ⅰ-∠版	藤沢型認定保育施設	△ 86	
量上	内容		小計(b)	△ 106	
計 画	台		特定教育・保育施設	0	
		っ歩ぃ L	地域型保育事業	_	
		3歳以上	藤沢型認定保育施設	18	
			小計(c)	18	
		i	計(a+b+c)	△ 81	
_	_				

平成28年度

662

2,779

3,441

6,882

550

39

33

622

2.009

132

285

2,426

3,925

4,013

7.061

179

88

平成29年度

662

2,779

3.441

6,882

556

55

54

665

199

227

2,457

3,994

55

4,049

7.171

289

2.031

平成30年度

662

2,779

3.441

6.882

556

72

54

682

282

224

2,675

4,106

4,161

7.518

636

55

2.169

662 2,779 「子ども・子育て支援新制度」の施行に伴い、今後5年間の幼児期の教育・保育及 び地域子ども・子育て支援事業の量の見込みと確保方策を定めた「藤沢市子ども・ 3,441 子育て支援事業計画」を策定するとともに、その計画に基づき、新たに「藤沢市保育 6.882 | 所整備計画(ガイドライン)」を策定した。

平成27年度の取組と今後の事業計画、課題等

平成27年度において特定教育・保育施設としては、認可保育所のみの整備により 520人の定員拡大を計画しており、計画どおり認可保育所の整備を進めたことにより、520人の定員拡大を図った。

51 地域型保育事業としては、小規模保育事業について整備を進めたものの、4事業 688 所76人の定員拡大計画に対して、3事業所51人の定員拡大にとどまったため、計画 に対して△25人となっている。

2,247 なお、家庭的保育事業については、16人の定員拡大計画どおりの整備を図った。 330 藤沢型認定保育施設としては、416人の定員拡大計画に対して、既存届出保育施 設の認可化移行を図ったことなどにより、360人の定員拡大にとどまったため、計画 に対して△56人となっている。

2,800 ついては、平成27年度末時点においては、、定員拡大計画に対して実績が△81人 4,218 となっているものの、平成28年度中に整備予定の認可保育所及び小規模保育事業 一 の定員拡大や平成28年度当初から実施する藤沢型認定保育施設制度の見直し(対 象施設の拡充)などにより、平成28年度末については計画の達成を見込んでいる。

52 なお、平成28年4月入所申込み数などから、当面の間、保育需要は増えることが想 4,270 定される一方、計画における量の見込みは5か年間同数となっており、実態との乖離 について是正を図るため、平成29年度中に「藤沢市保育所整備計画(ガイドライン)」 の見直しを予定している。

_			[平成27年	 F度計画		(単位:人)	(平成28年3月31日時点)
		地	区別	東南地区	西南地区	中部地区	北部地区	計	平成27年度の取組と今後の事業計画、課題等
	量	0	歳(3号認定)	239	152	125	146	662	
	の 見	1.	2歳(3号認定)	1,153	546	598	482	2,779	【東南地区】 藤沢市子ども・子育て支援事業計画において設定された「教育・保育提供区域」4
	込	3歳	以上(2号認定)	1,392	697	724	628	3,441	地区のうち「東南地区」については、特定教育・保育施設としては認可保育所の整備
	み		計 ①	2,784	1,395	1,447	1,256	6 882	1により計画どおりの定員拡大を図ることができた。
			特定教育•保育施設	195	108	97	105	505	一方、地域型保育事業及び藤沢型認定保育施設については計画を△121人下回っているが、平成28年度に整備を予定している小規模保育事業の定員拡大や藤沢型認定保育施設制度の見直し(対象施設の拡充)により、平成28年度末において
		O歳	地域型保育事業	0	6	3	12	21	沢型認定保育施設制度の見直し(対象施設の拡充)により、平成28年度末において
		U AJSC	藤沢型認定保育施設	18	4	4	7		は計画達成を見込んでいる。
計	_		小計(a)	213	118	104	124	559	4
	確		特定教育・保育施設	677	365	385	375		【西南地区】
画	保	1 2歳	地域型保育事業	8	13	16	34	71	┃ 「西南地区」については、特定教育・保育施設としては認可保育所の整備により、ま 「た藤沢型認定保育施設についても計画どおりの定員拡大を図ることができた。
7	の内		藤沢型認定保育施設	127	62	37	59	285	た藤沢型認定保育施設についても計画どおりの定員拡大を図ることができた。 一方、地域型保育事業については計画を△19人下回っているが、平成28年度に整
	容 -		小計(b)	812	440	438	468	2,158]備を予定している小規模保育事業の定員拡大により、平成28年度末においては計
			特定教育・保育施設	1,234	735	824	702	3,495	画達成を見込んでいる。
		3歳以上	地域型保育事業	_	_	_	_		
		l	藤沢型認定保育施設	28	15	23	32		【中部地区】
		=1	小計(c)	1,262	750	847	734	3,593	「中部地区」については、特定教育・保育施設としては認可保育所の整備により計画どおりの定員拡大を図ることができた。
ŀ			(a+b+c) ②	2,287	1,308	1,389	1,326		┩ 一万、地域型保育事業及び滕沢型認定保育施設については1・2歳児の定員拡大
		(2)	一 ①	△ 497	△ 87	△ 58	70		計画を△9人下回っているが、平成28年度に整備を予定している小規模保育事業の 定員拡大や藤沢型認定保育施設制度の見直し(対象施設の拡充)により、平成28年
			特定教育・保育施設	195	108	97	105		度末においては計画達成を見込んでいる。 「大学」というでは、100mmでは、100mmである。
		の歳 地域型保育事業 藤沢型認定保育施設 小計(a)		- I	23	4	10	10	
				202	131	107	126	566	【北部地区】
			特定教育・保育施設	677	365	385	375	1,802	「北部地区」については、特定教育・保育施設としては認可保育所の整備により、ま
実			地域型保育事業	4	0	12	35	51	た藤沢型認定保育施設についても計画どおりの定員拡大を図ることができた。
		1•2歳	藤沢型認定保育施設	36	71	32	60	199	一方、地域型保育事業については0歳児の定員拡大計画を△1人下回っているが、 平成28年度に整備を予定している小規模保育事業の定員拡大により、平成28年度
害		ı,	小計(b)	717	436	429	470	2 052	末においては計画達成を見込んでいる。
以			特定教育・保育施設	1,234	735	824	702	3,495	
			地域型保育事業		_				
		3歳以上	藤沢型認定保育施設	13	32	34	37	116	
		ı,	小計(c)	1,247	767	858	739	3,611	
		計(a	a+b+c)	2,166	1,334	1,394	1,335	6,229	
			特定教育・保育施設	0	0	0	0	0	
		0 -5	地域型保育事業	1	△ 6	1	Δ1	Δ 5	
		O歳	藤沢型認定保育施設	△ 12	19	2	3	12	
		•	小計(a)	△ 11	13	3	2	7	
実績			特定教育・保育施設	0	0	0	0	0	
 貝		1・2歳	地域型保育事業	△ 4	△ 13	△ 4	1	△ 20	
-		ı ¯ ∠	藤沢型認定保育施設	△ 91	9	△ 5	1	△ 86	
計			小計(b)	△ 95	△ 4	△ 9	2	Δ 106	
画			特定教育・保育施設	0	0	0	0	0	
	,	3歳以上	地域型保育事業	_	_	_	_	0	
		〜 //以 / / 土	藤沢型認定保育施設	△ 15	17	11	5	18	4
			小計(c)	△ 15	17	11	5	18	4
		計(a	a+b+c)	△ 121	26	5	9	Δ 81	

藤沢市子ども・子育て支援事業計画における「地域子ども・子育て支援事業の量の見込みと確保の内容」

(1) 利用者支援事業

(平成28年3月31日時点)

		単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成27年度の取組と今後の事業計画、課題等
利用	者支援事業			_		平成27年度は、保育コンシェルジュを保育課1か所に配置する中で、湘南台子育て支援センター		
	量の見込み ①		1	3	3	3	3	及び辻堂子育て支援センターの2か所において出張相談を実施した。 平成28年度からは、辻堂子育て支援センター及び六会子育て支援センターに正規の保育士2名を 配置するとともに、六会子育て支援センターを含めた3か所に拡充して利用者支援事業を実施す
計 画	確保の内容 ②	か所	1	3	3	3	3	配置するとともに、八会子自じ文法センターを含めた3が所に拡充して利用有文法事業を美施する。
	2 - 1		0	0	0	0	0	要な困難ケースに対しては、子ども健康課の子育て企画課兼務保健師や地区担当保健師とも連携」するアウトリーチによる支援も検討する。
実績	確保の内容	か所	1					
	実績 一 計画		0					

(2) 時間外保育事業(延長保育)

(平成28年3月31日時点)

		単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成27年度の取組と今後の事業計画、課題等
時間	外保育事業(延長保	:育)					平成27年度は、すべての公立・私立認可保育所56園で延長保育を実施したため、計画を200	
	量の見込み ①		5,887	5,887	5,887	5,887	5,887	
計 画	確保の内容 ②	人	5,602	5,954	6,489	6,827		ることから、新設園も含めた全園での延長保育を継続して実施する。
	2 - 1		△ 285	67	602	940	918	
実績	確保の内容	人	5,802					
	実績 一 計画		200					

(3) 放課後児童健全育成事業

		単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成27年度の取組と今後の事業計画、課題等
放課	後児童健全育成事業	業				平成27年度は、待機児解消を図るための定員確保対策として4カ所の整備を行い、計画を235人		
	量の見込み ①		3,650	3,650	3,650	3,650	3,650	上回る3,354人を確保した。 また、藤沢市放課後児童クラブ整備計画に基づき放課後児童クラブを5カ所建設するとともに、定
計 画	確保の内容 ②	人	3,119	3,352	3,606	3,874	4,074	員確保対策として1カ所の開所準備を行った。今後も、この整備計画に基づく新設及び既存施設の 拡充を進めます。 なお、小学校近隣等適地の不足、児童クラブ運営に係る人員の確保及び質の向上などの課題も
	2 - 1		△ 531	△ 298	△ 44	224	424	あり、中間年の見直し等においてクラブの必要数の検証や整備手法、既存事業者以外の新たな運営事業者の募集などの検討を行います。
実績	確保の内容	人	3,354					
	実績 一 計画		235					

(4) ショートステイ (平成28年3月31日時点)

		単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成27年度の取組と今後の事業計画、課題等
ショ・	ートステイ						平成27年度は、1施設において計画どおり1,113人日確保したが、実利用は188人日となった。	
	量の見込み①		1,113	1,087	1,061	1,030	1,001	今後も引き続き、支援内容の充実を図る。
計 画	確保の内容 ②	人日	1,113	1,113	1,113	1,113	1,113	
	2 - 1		0	26	52	83	112	
実績	確保の内容	人日	1,113					
	実績 一 計画		0					

(5)地域子育て支援拠点事業

(平成28年3月31日時点)

		単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成27年度の取組と今後の事業計画、課題等
地垣	找子育て支援拠点事 算	<u></u>				平成27年度は、34か所の子育て支援センター等において親子の相互交流・相談・情報提供・講		
計	量の見込み ①	人回	52,428	63,641	65,222	66,853	68,537	会等を実施した。 利用者数は、52,428人回の見込に対して44,928人回と下回ったが、集合住宅等のお子さんが幼稚
画	確保の内容 ②	か所	34	35	35	35	35	園児や就学児となったことや対象者限定の日を設定したこと等も一つの理由と考えられる。 今後は、相談内容の複雑化やニーズの多様化に対応するため、辻堂及び六会子育て支援センターに正職の保育士各2名を配置するとともに石川児童館を加えた36か所で子育て家庭の個々の
実績	確保の内容	か所	34					ニーズに合った情報提供・相談を行うとともに、関係機関との調整により、一層の迅速かつきめ細か な支援を行うことで利用者支援事業の充実を図る。
	実績 - 計画		0					

(6)一時預かり(幼稚園在園児対象)

		単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成27年度の取組と今後の事業計画、課題等
一時	一時預かり(幼稚園在園児対象)							平成27年度は、保護者の就労等により幼稚園での一時預かりを利用する児童が見込みを大きく
	量の見込み ①		57,112	56,788	57,627	55,392	53,967	上回ったため、幼稚園が行っている預かり保育の長時間化及び夏期休業中の保育の実施・充実に 向けた協議・調整を図ることで、69,373人日を確保した。
計 画	確保の内容 ②	人日	57,112	56,788	57,627	55,392	53,967	今後も、引き続き見込みを上回ることが予想されるため、確保を継続するとともに中間年での見直 しを検討する。
	2 - 1		0	0	0	0	0	
実績	確保の内容	人日	69,373					
	実績 一 計画		12,261					

(7)一時預かり(幼稚園在園児以外)

			単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成27年度の取組と今後の事業計画、課題等
	一時	預かり(幼稚園在園)	見以外)						【一時預かり】
		量の見込み ①		68,220	68,220	68,220	68,220	68,220	平成27年度は、従来の実施園に加え新設園3園で実施(6月から2園、7月から1園実施)したことにより、計画は達成できなかったものの42,890人日を確保し、実利用は27,844人日となった。
	Trife	一時預かり (幼稚園以外)		43,200	43,200	62,400	62,400	62,400	→ 今後も認可保育所における一時預かりが推進されるよう、新規開設園などに実施を働きかけてい) く。
計	催保の	ファミリー・サポート・センター (病児・病後児以外)	人日	5,200	5,200	5,200	5,200	5,200] 【ファミリー・サポート・センター】
画	内容	トワイライトステイ	ДЦ [2,340	2,340	2,340	2,340	2,340	平成27年度は、チラシの地域回覧や広報掲載、ラジオ番組での紹介や関係機関への事業内容の 説明会をとおして「まかせて会員」の増加が図られた。
		計 ②		50,740	50,740	69,940	69,940	69,940	今後も利用しやすい制度となるよう検討を進めるとともに、広く事業のPRを行い「まかせて会員」 の増加に取り組む。
		2 - 1		△ 17,480	△ 17,480	1,720	1,720	1,720	1
		一時預かり (幼稚園以外)		42,890					マスティアイアイアイアイアイアイアイアイアイアイアイアイアイアイアイアイアイアイアイ
実績	確保の	ファミリー・サホ [°] ート・センター (病児・病後児以外)	人日	5,200					今後も地域ごとの利用状況を踏まえ、実施施設の拡大や支援の充実を図る。
大帜	内容	トワイライトステイ	Λu [2,340					
	Г	計		50,430					
#		一時預かり (幼稚園以外)		△ 310					
実 績 一		ファミリー・サホ [°] ート・センター (病児・病後児以外)	人日	0					
計画	内容	トワイライトステイ	Д П	0					
		計		△ 310					

			単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成27年度の取組と今後の事業計画、課題等	
	病児	病後児保育事業						【病児·病後児保育】		
		量の見込み ①			4,995	4,995	4,995	4,995	4,995	平成27年度は、市内法人立認可保育所3施設で実施され、計画どおり4,080人日を確保したが実利用は751人日となった。認可保育所等の増設に伴い、利用対象者が年々増加しているため、引き
計	確保	病児•病後児保育		4,080	5,280	5,280	5,280	5,280	続き認可保育所の事業者を公募する際に病後児保育事業の提案を促していく。 今後は、事業の実施にあたり医療機関との連携体制の確保などの課題について、関係機関を含 めた協議・検討を進める。	
	体の内	ファミリー・サポート・センター (病児・病後児利用)	人日	163	163	163	163	163	&バミImi我 「快音」を延める。 	
画	2 容	計 ②			4,243	5,443	5,443	5,443	5,443	【ファミリー・サポート・センター(病児・病後児利用)】 ア成27年度は、計画どおり163人日を確保したが実利用は137人日となり、子育て中の保護者の
		2 - 1		△ 752	448	448	448	448	支援を図った。 今後も引き続き、保護者のニーズに対応出来るよう努める。	
	確	病児•病後児保育	人日	4,080						
実績	保の内	ファミリー・サホ [°] ート・センター (病児・病後児利用)		163						
	容	計		4,243						
実績	確保	病児•病後児保育		0						
棋 - 計	体の内	ファミリー・サホ [°] ート・センター (病児・病後児利用)	人日	0						
画	容	計		0						

(9) ファミリー・サポート・センター(就学児の預かり)

		単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成27年度の取組と今後の事業計画、課題等
ファ	ミリー・サポート・セング	ター(就学	空児の預かり)		平成27年度は、計画どおり4,398人日を確保したが実利用は3,169人となった。また、チラシの地域			
	量の見込み ①		4,398	4,236	4,236	4,236	4,236	回覧や広報掲載、ラジオ番組での紹介や関係機関への事業内容の説明会をとおして「まかせて会員」の増加が図られた。
計 画	確保の内容 ②	人日	4,398	4,398	4,398	4,398	4,398	今後も引き続き、利用しやすい制度となるよう検討を進めるとともに、広く事業のPRを行い「まかせて会員」の増加に取り組む。
	2 - 1		0	162	162	162	162	
実績	確保の内容	人日	4,398					
	実績 一 計画		0					

(1O) 妊婦健康診査

		単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成27年度の取組と今後の事業計画、課題等
妊婦個	建康診査						平成27年度は、計画45,000人回に対して実利用が43,973人回となった。理由としては、妊娠届出	
計画	量の見込み	人回	45,000	44,000	43,000	42,000	41,000	数が減少した(H26:3,837件→H27:3,691件)ことにより妊婦健康診査受診数が減少したことがあげ られる。
実績	確保の内容	人回	43,973					一方で、妊婦健康診査受診率は上がっているため(H26:82.4%→H27:85.1%)、今後も妊婦健康診 査の必要性や早期受診について、市のホームページや広報ふじさわなどで啓発するほか、妊娠届 出時等に妊婦健康診査の受診勧奨を推進し、受診率の向上に努める。
	実績 一 計画		△ 1,027					四時時に江州庭泳が且の文が勘大と記述し、文が平の門上に方のも。

(11)乳児家庭全戸訪問事業

(平成28年3月31日時点)

		単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成27年度の取組と今後の事業計画、課題等
乳児:	家庭全戸訪問事業					「こんにちは赤ちゃん事業」として生後4カ月までの母子を全戸訪問し、育児不安を早期に解決でき		
計画	量の見込み	人	3,600	3,500	3,400	3,300	3,200	1 %27 及186 日 5,000 (127) 5 (27) 10 (28) 7 (8) 2 10 (8) 7 (
実績	確保の内容	人	3,450		•			数H26:3,610人→H27:3,570人)があげられる。 今後も出生連絡票に基づく家庭訪問を実施し、状況により必要者に再訪問を複数回行えるよう初 回訪問を把握後早めの時期に丁寧な対応を行い、育児不安の軽減に努めていく。
	実績 一 計画		△ 150					国的同と記述後中のの時刻に丁字などがと目が、日光十支の柱域に対象です。

(12)養育支援訪問事業

		単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成27年度の取組と今後の事業計画、課題等
								平成27年度は、計画どおりの660人を確保し、保健師等による支援家庭に対する訪問を270回、へ
計画	量の見込み	人	660	660	660	660	660	ルパー派遣による家事・育児の支援を262回実施したことにより、安定した養育の確保が図られた。 今後も、母子保健との連携による支援に努める。
実績	確保の内容	人	660					
実績 一 計画			0					